

県営水道料金値上げ

ストップできます

その財源を 提案



丸山慎一県議

パネルを示して質疑

日本共産党 Japanese Communist Party

9月県議会代表質問

生活苦に追い打ち

千葉県知事から諮問された水道事業審議会は、水道料金を18.6%引き上げる方向を打ち出しました。

いま、物価高騰のもと庶民は家計を切り詰め、中小零細業者の営業は大変です。

県は県民の暮らしを支えるべきなのに、逆に、追い打ちをかけるような水道料金の値上げなんてやってはならないことです。

いのちの水より企業利益の水を優遇

水道料金は、契約した水道管の太さにもとづく基本料金と使った水量にもとづく従量料金を組み合わせています。

県は、人口減少を理由に、使用量に左右されない基本料金の割合を高めるつもりです。しかも一般家庭や零細個人業者等が多い「小口径」が給水原価割れしていると、企業が使う「大口径」より、値上げ率を高くしようとしています。

生活に欠かせない命の水と、企業が利益をあげるための水は、明確に分けるべきです。

78億円あれば値上げは回避…県に検討を迫る 日本共産党県議団の提案

企業局資料（2024年度決算見込み）によれば、小口径（13mmと20mm）契約者の値上げを避けるための必要額は78億円です。日本共産党は、値上げを抑えるために新たな財源確保を提案。県に検討を求めました。

1 大口径利用者の従量料金上限引き上げ…31億1千万

現行上限（500㎥以上・1㎥あたり441円）を、1000㎥超・同500円、2000㎥超・同600円、3000㎥超・同700円、5000㎥超・同800円、7000㎥以上・同900円に細分化します。

＊口径100mm以下の契約者（街の商店等）および医療機関は除外します。

2 企業債を活用…20億円

地震対策等インフラ整備に必要ですが、千葉県以上に企業債比率が高い自治体もあります。

3 内部留保へらす…20億円

この間、借入金返済での取り崩しはありません。

4 県一般会計からの繰り入れ増やす…7億円

暮らしに不可欠な水は、国、県のなどの税金で支えるべきです。



加藤 英雄

（柏市）
総務防災常任委員



みわ 由美

（松戸市）
健康福祉常任委員



丸山 慎一

（船橋市）
県土整備常任委員



浅野ふみ子

（市川市）
文教常任委員

日本共産党千葉県議会だより
2025年9月21日号 ☎043(223)2544